

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 31日

事業所名 穂乃花

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			活動内容によって療育スペースを使い分けているようにしている	活動内容によっては室内スペースが狭く感じる場合もある為、所外施設(体育館や児童館等)も利用できるよう検討していきたい。
	2	職員の配置数は適切である	5				個別対応に必要な児童が多い日でも必要な人員が確保できるように努めていきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている			5		賃貸物件の為、全てのバリアフリー化は難しく畳間周辺等に段差がある。今後も子ども達が過ごしやすい環境を維持できるよう工夫していきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5				職員全員で業務の振り返りと活動計画ができるよう、日々ミーティングの時間を設けている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5				保護者等評価を参考にしながら今後も業務改善につなげていきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5				ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			5		今後は第三者評価の導入も検討していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5				定期的に所内勉強会や研修を実施しており、今後も継続していきたい。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5				利用開始前には保護者面談等を実施して、ニーズや課題を把握するようにしている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5				アセスメントシートを使用しながら、子どもの特性を把握できるようにしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5				毎月、職員全員で翌月の活動案を立案するようにしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5				複数職員で活動案を考えることでプログラムが固定しないように努力している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5				活動できる時間を考慮しながら、実施できるプログラムや活動内容を設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5				子どもの特性や課題に応じて、個別活動と集団活動を個々に設定している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5				活動の開始前までに職員間で打ち合わせを行い、支援内容を確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5				支援終了後は職員間で情報共有を実施しており、時間が無い場合は翌日に気付いた点を共有するようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5				活動の終了後に記録を残し、次回の支援の参考にできるようにしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5				定期的にモニタリングを実施し、計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5				所内研修の一つにガイドラインの確認を取り入れ、職員全員が基本活動の理解を深められるようにしている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	5				会議には児童発達支援管理責任者を中心に本児の課題や状 況を把握した職員が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	5				下校時間の確認等は学校や保護者と連携しながら、細目 に行うようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている				※対象児なし	※医療的ケアが必要な児童はまだいないが、必要な際は適 切に対応できるよう対応していきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	5				子どもの状況を見ながら適宜必要な場合に情報共有や会議 を実施し、連携が取れるようにしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している				※対象児なし	※R4年度対象となる児童はいなかったが、今後障害福祉 サービス事業所等へ移行する児童がいた場合はスムーズな 移行ができるよう情報共有等を行っていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている		5			今後、専門機関との連携や研修の機会を増やせるようにし ていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある		5			ハロウィンの際に地域の自治会に出向いたりしたが、コロナ 渦の影響もあり交流の機会をたくさん設けることはできなかつ た。次年度は地域交流が充実できるよう計画したい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している			5		職員体制を整備し、今後、会議参加できるよう検討したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	5				保護者と面談する際にはその都度児童の状況や課題点を共 有するようにしている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている		5			今後は積極的に研修などへ参加したり、勉強会を実施しなが らスキルアップが図れるようにしていきたい。	
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	5				今後も引き続き丁寧で分かりやすい説明を心掛けていき たい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	5				保護者からの問いかけに対し、その都度対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している			5		今年度はコロナ渦の影響で保護者会等を開催できなかった が、次年度は保護者会の開催を検討したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	5				職員全員で情報共有しながら、出来るだけ迅速な対応を心掛 けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	5				毎月「ほのかだより」を発行し、活動内容についてお知らせ している。
	35	個人情報に十分注意している	5				研修等でマニュアルを確認しながら、個人情報の取り扱いに 配慮するよう対応している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	5				保護者や子どもたちにわかりやすい説明を心掛けている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っている			5		コロナ渦の影響もあり地域交流はあまりできていない。次 年度は機会を設けられるよう検討したい。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		5			今後は保護者へのマニュアル共有も実施できるようにしていきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5				毎月、火災訓練や地震・津波、不審者訓練等を交互に実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5				職員全員で虐待防止研修を実施している。今後も継続的に実施していきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5				身体拘束を要する児童はいないが、今後対応方法について職員間で共有しながら、適切な対応が行えるようにしていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5				今後もアレルギーの有無について情報を共有し、必要な対応ができるようにしていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5				ヒヤリハットに該当する事例が発生した際は職員会議の際に情報共有しており、今後も継続していきたい。